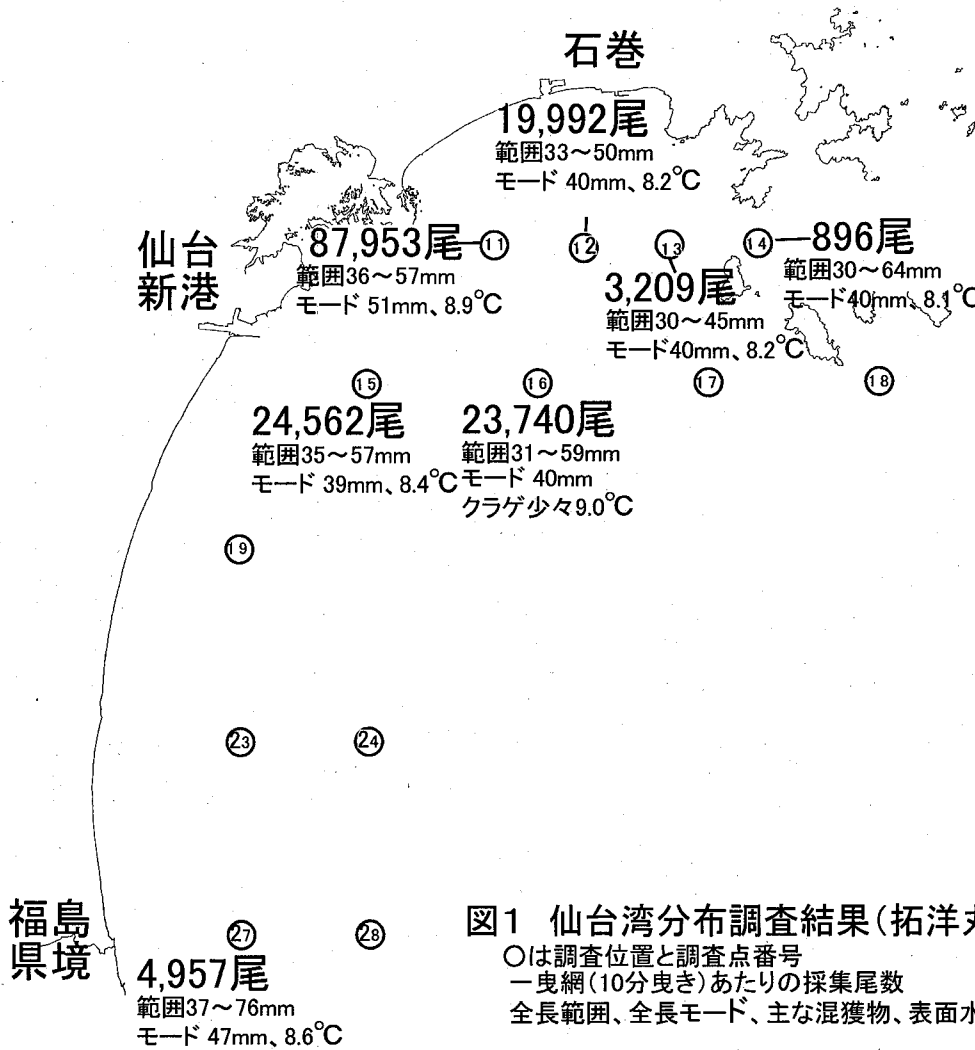


コウナゴ分布状況調査結果

平成25年4月10日～11日のコウナゴ分布



平成25年4月10日から11日にかけて、県漁業調査指導船「拓洋丸」により、コウナゴの分布状況を調査を行いました。

調査は前回(3/29)に多く採集された仙台湾内7調査点において、網口開口板を使用した中層トロール網(水深10m層10分間曳)を用いて行いました。

コウナゴは前回と同様、仙台湾奥の石巻湾、仙台新港沖で多く採集されました。

コウナゴの全長は30~76mmの範囲でした。モードは40mmで、7調査点のヒストグラムでは、県境の調査点では大型の個体もみられました。表面水温は8.1°C~9.0°Cの範囲となりました(図1,2)。

多く採集された調査点(St.11,12,15,16,27)で放射性セシウムを測定したところ、すべての地点で不検出でした。

図1 仙台湾分布調査結果(拓洋丸)

○は調査位置と調査点番号
一曳網(10分曳き)あたりの採集尾数
全長範囲、全長モード、主な混獲物、表面水温

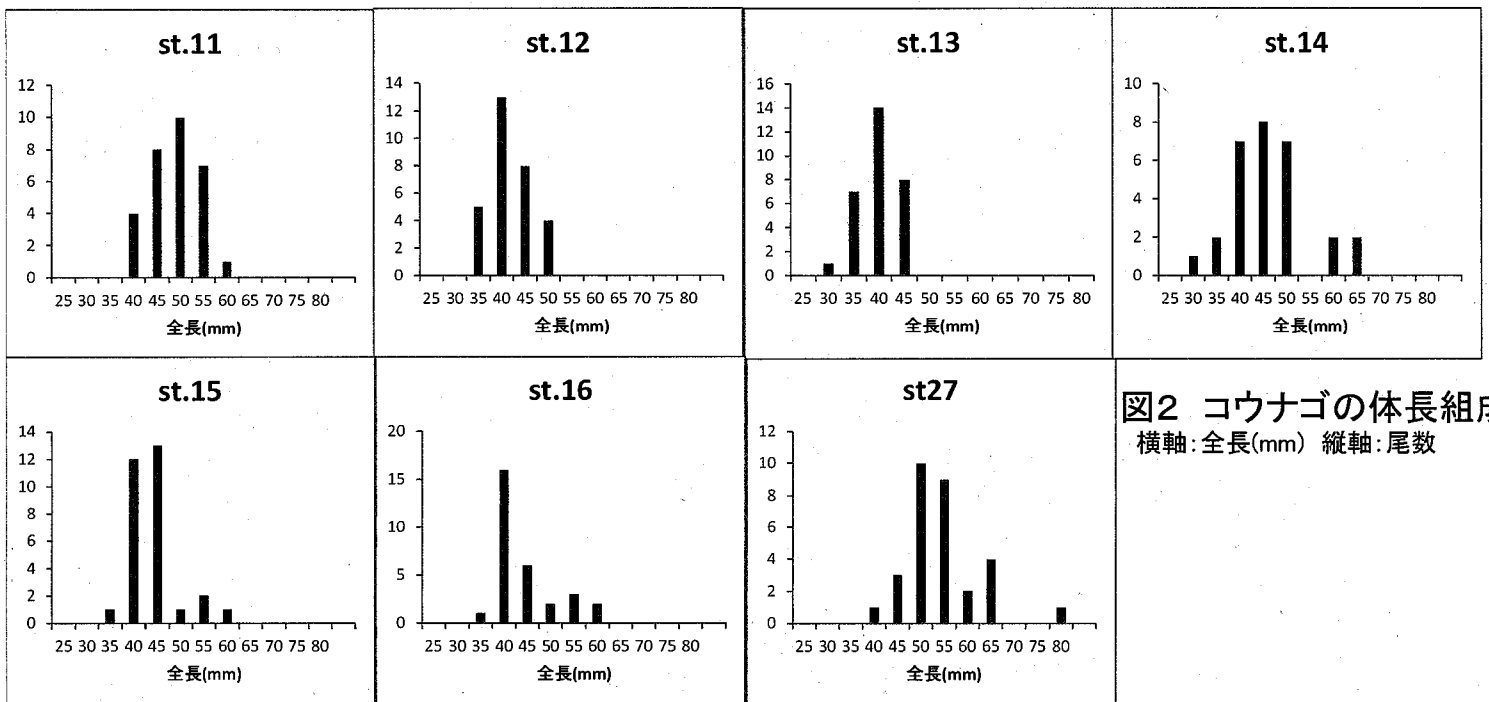


図2 コウナゴの体長組成
横軸:全長(mm) 縦軸:尾数